

(その1)

地球温暖化対策結果報告書

1 地球温暖化対策事業者等の概要

(1) 地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名 (法人にあっては名称及び代表者又は管理者の氏名)	独立行政法人 日本芸術文化振興会 理事長：茂木 賢三郎
地球温暖化対策事業者等の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区隼町4-1

(2) 事業所の概要

事業所の名称		国立劇場		
事業所の所在地		東京都千代田区隼町4-1		
業種等	事業の業種	分類番号	Q84 Q:サービス業(他に分類されない) ▼ 娯楽業 ▼	
		産業分類名	娯楽業	
	事業所の種類	主たる用途	部門分類	<input type="radio"/> 産業 <input checked="" type="radio"/> 業務
			<input type="radio"/> 工場 <input type="radio"/> 熱供給施設 <input type="radio"/> 上水道・下水道施設 <input type="radio"/> 廃棄物処理施設	
			<input type="radio"/> 事務所 <input type="radio"/> 商業施設 <input type="radio"/> 宿泊施設 <input type="radio"/> 教育施設	
	<input type="radio"/> 医療施設 <input checked="" type="radio"/> 文化施設			
	<input type="radio"/> その他 ()			
	建物の使用形態	<input type="checkbox"/> テナントビル等に該当		
事業の概要		独立行政法人日本芸術文化振興会は、芸術家及び芸術に関する団体が行う芸術の創造又は普及を図るための活動、その他の文化の振興又は普及を図るための活動に対する援助を行い、あわせて我が国古来の伝統的な芸能の公開、伝承者の養成、調査研究等を行い、その保存及び振興を図るとともに、我が国における現代の舞台芸術の公演、実演家等の研修、調査研究等を行い、その振興及び普及を図り、もって芸術その他の文化の向上に寄与することを目的とする。		
主なテナント事業者等の概要 (テナントビル等の場合に記載)		(1) テナント事業者等の名称		
		(2) テナント事業者等の名称		
		(3) テナント事業者等の名称		
敷地面積		31,269	m ²	
建物の延べ面積		35,430	m ²	

(3) 担当部署

計画の担当部署	名称	総務企画部 施設課	
	連絡先	電話番号	03-3265-6167
		ファクシミリ番号	03-3265-9042
		電子メールアドレス	aokih@ntj.jac.go.jp
公表の担当部署	名称	総務企画部 総務課 管理室	
	連絡先	電話番号	03-3265-6085
		ファクシミリ番号	03-3265-6336
		電子メールアドレス	somu-nt@ntj.jac.go.jp

(その2)

(4) 地球温暖化対策結果報告書の公表方法

公表期間	平成22年7月1日 ~ 平成23年6月30日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス: http://www.ntj.jac.go.jp
	<input type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所: 所在地: 閲覧可能時間:
	<input type="checkbox"/> 冊子	冊子名: 入手方法:
	<input type="checkbox"/> その他	

2 計画期間

17 年度 ~ 21 年度

3 温室効果ガスの総排出量の状況

(1) 計画期間の最終年度の温室効果ガスの総排出量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
2,736						2,736

(2) 基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの総排出量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
総排出量	2,970	2,919	2,843	2,911	2,761	2,736
基準排出量 比増減率		2%	4%	2%	7%	8%

4 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)等

(1) 温室効果ガスの排出の量

(計画終了年度: 21 年度)

ア 計画期間の最終年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
2,736						2,736

イ 計画期間の最終年度の建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量の状況等

(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量	77.2	kg/m ² ・年
建物の延べ面積当たりのエネルギー消費量	1,780	MJ/m ² ・年

ウ 基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	2,970	2,919	2,843	2,911	2,761	2,736
基準排出量 比増減率		2%	4%	2%	7%	8%

(2) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況

対策分類ごとの措置の実施 状況(実施の有無)	基本対策	<input type="radio"/> すべて完了 <input checked="" type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし
	うち、運用対策	<input type="radio"/> すべて実施 <input checked="" type="radio"/> 一部実施 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし
	目標対策	<input checked="" type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし

目標の達成状況	推計実績削減量(目標対策分)	126 t-CO ₂
	推計実績削減率(目標対策分)	4.2%
基準年度中に完了した削減対策のうち、目標対策に相当するものの実施による削減率		4.6%

(その3)

5 自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

ア 計画期間の最終年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計

イ 基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量						
基準排出量 比増減率						

(2) 温室効果ガス排出の抑制に係る措置の実施状況

排出の抑制に係る措置の実施状況	<input type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input checked="" type="radio"/> 計画なし
-----------------	--

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等に関する自己評価

(1) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等の総括

文化施設という立場から、来場されたお客様に不快感を与えないような対策の実施を目指し、且つ、温暖化ガスの低減を重視した取り組みを、施設全体で進めている。

- ①省エネルギー推進委員会を設置しており、管理標準によって設備の運転等を管理している。
- ②ダンパによる風量調整のINV化は大劇場の空調機において完了し、18年2月より本格的な運用を開始している。
- ③節電形蛍光管への改修は済んでいる。
- ④蒸気弁について、熱損失の防止策を実施している。
- ⑤換気ファンの間欠運転を、H19年度より実施している。

概ね計画通りに対策が実施できている。

(2) 次期計画期間における取組方針

地球温暖化がますます深刻な問題となり、社会的に防止対策が急務となっている。H22年より「温室効果ガス排出総量削減義務と排出量取引制度」の新制度が始まるが、当施設も、省エネ対策やスケジュールを新たに検討し、積極的に対策を推進していく所存である。

(その4)

7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況(個表)

(1) 基本対策及び目標対策

対策No	対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。)	対策レベル	追加年度	計画時の削減効果の見込量(t)	達成状況		備考		
					推計実績削減量(t)	推計実績削減率(%)			
1	換気ファンの間欠運転	基本対策(運用) ▼		3	3	0.10%			
2	節電形蛍光管の使用	基本対策(運用) ▼		10	8	0.26%			
3	ターボ冷凍機の熱源機COP管理	基本対策(運用) ▼		30	30	1.01%			
4	蒸気配管・弁類の熱損失の防止	基本対策 ▼		4	4	0.13%			
5	ダンパによる風量調整のINV化	目標対策 ▼		113	100	3.36%	推計実績削減量の数値を訂正しました。根拠資料D-9		
6	冷却塔の更新	目標対策 ▼		6	6	0.20%	推計実績削減量の数値を訂正しました。根拠資料D-10		
7	照明人感センサーの導入	目標対策 ▼		3	3	0.10%	推計実績削減量の数値を訂正しました。根拠資料D-11		
8	エレベータのINV制御	目標対策 ▼		0	0		推計実績削減量の数値を訂正しました。根拠資料D-12		
9	冷却水ポンプのINV制御	目標対策 ▼		17	17	0.57%	推計実績削減量の数値を訂正しました。根拠資料D-13		
		▼							
		▼							
		▼							
		▼							
		▼							
		▼							
		▼							
合計					171	5.7%	計画削減量(t)及び計画削減率(%)	186	6.2%
合計(うち目標対策分)					126	4.2%	目標削減量(t)及び目標削減率(%)	139	4.6%